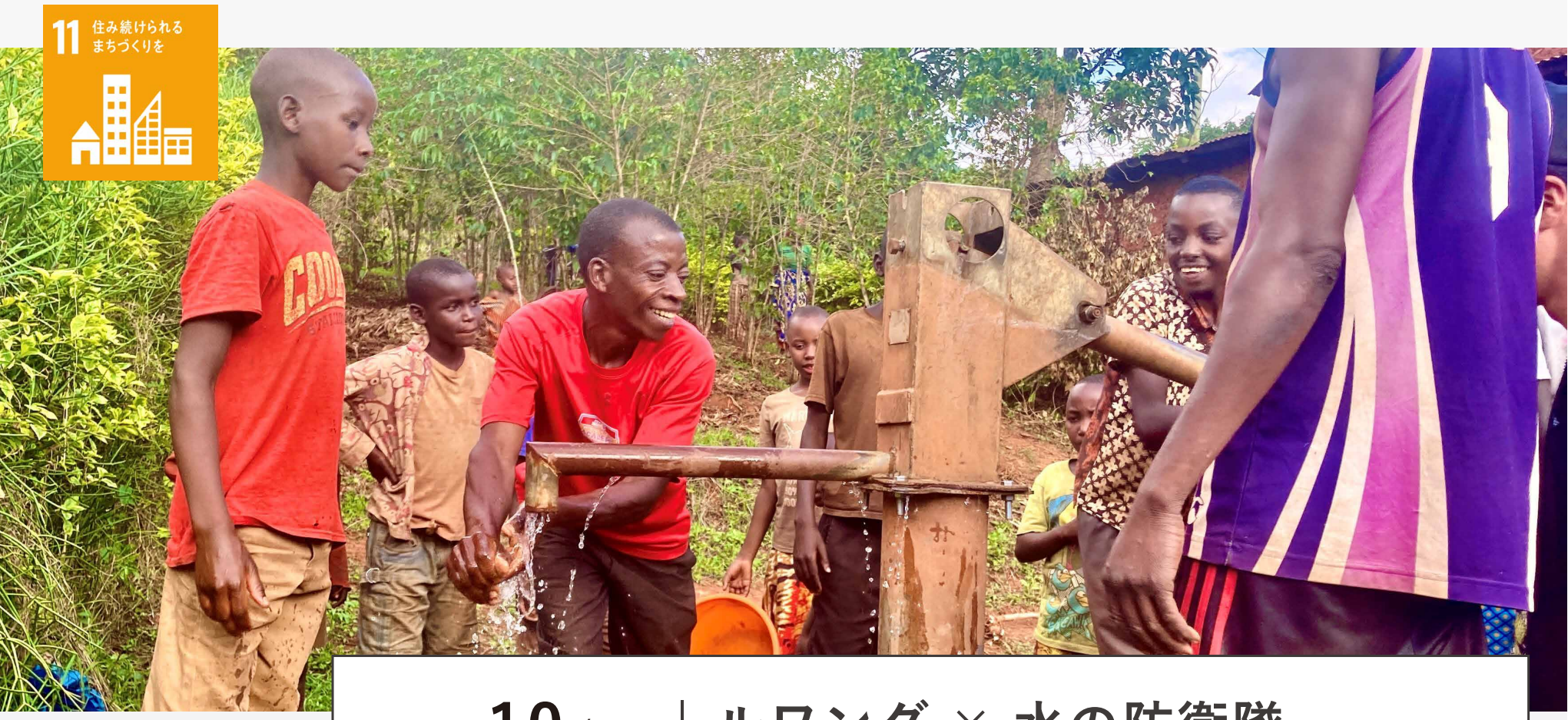
「寄附してみたい」を大事にしたい。

この度は寄附いただき、誠にありがとうございました。
本プロジェクトにご賛同 / ご参画いただき、非常に嬉しく思います。

毎日変わらぬ日々を過ごしている中で、ふとテレビをつけてみると、
世界各地で起こる様々な問題の渦中で助けを求める人々が映った時。
そんな時に思う「誰かのために何かしてみたい。」という
その小さな想いが実はとても尊く、大事にしたいものと、私たちは思います。

今回皆様からいただいた寄附金がどこで誰のために使われるのか、
それを知っていただくことで「誰かのために」を「この人たちのために」に変えます。
皆様のその想いが確かに、人の為になっていることを伝えさせてください。



Result 10 /11 ｜ ルワンダ × 水の防衛隊

01.

あなたの寄附の使い先。

使い先１：『ろ過装置』の設置。

パイプ給水や井戸、湧水が使えず、川や湖などの水を使用している地域にろ過装置を設置します。それによりパイプ給水や井戸、湧水が使えるようになるまでの期間も、安全な水を確保することができます。これは、水因性疾患の割合を減らすことにも繋がります。

他にも、簡易水質検査キットを使用した検査を実施し、そのデータをもとに、水質の悪い井戸や湧水を使用している地域に対してろ過装置を設置します。そして、水質が改善するまでの期間も、安全な水を確保することができるようにします。

使い先２：『手洗い Tap』の設置。

様々な感染症予防には、石鹸での丁寧な手洗いが有効な手段とされていますが、地方の学校では手洗い場がない学校もあり、感染リスクが高い状況です。わずかな水で適切な手洗いが可能な手洗い Tap を導入することで、水不足問題を抱える東部県において、より効果的に各学校の衛生環境を整えることができます。

また、同時に衛生習慣等の啓発を行うことで、子どもたちの衛生意識の向上に取り組みます。

02. ルワンダってどんな国？？

Rwanda

ルワンダは、アフリカの赤道近くに位置する、四国の約 1.4 倍の小さな内陸国です。「千の丘の国」と称されており、緑豊かな丘陵が連なった多様な自然美を誇る、心地よい気候の国です。

>> 豊かな自然の景色

シャイな一面を持つ人も多いですが、相互扶助の精神が強く、穏やかで人懐っこい国民性です。また、世界で唯一女性議員が多数派を占めており、バイタリティに溢れています。

03. 水の課題

Column

ルワンダでは、地方の給水施設が十分に稼働しておらず、地方部での安全な水へのアクセス率は５割程度と言われています。特に東部県における給水率はさらに低くなります。

国や各郡はパイプ給水に力を入れ事業を進めていますが、現状、パイプ給水が行き届いていない地域が多く存在します。また、井戸や湧水から水を汲んでいる地域では、修理費用を集めることができず、故障したまま放置されているものも多々あります。

このようなパイプ給水や井戸、湧水などが無いもしくは使えない地域では、川や湖、整備されていない湧き水などを飲料水として使用しています。